

なっちゃん酪酊山人と語る

安藤奈津：こんにちは。

1年6組の安藤奈津です。

酪酊山人：なにっ！あんどーナツちゃと！

あんどーナツはワシの好物ちゃ！

安藤奈津：違いますって。あんどー……なつ

酪酊山人：おおそうちゃったか。よく来たのう。

ところで今日は何の用ちゃ？

安藤奈津：いろいろとねえ。部の先輩のことで…

酪酊山人：何ちゃ？何でも話してみなさい。

安藤奈津：実は……

先輩は「1年生だから〇〇はダメ」とか
いうように1年と2年を比べるんです。

でもそれは2年のほとんどがやってると
思うんだけど、先輩の場合「日焼け止め
も1年はダメ」って言うし、すごく不思議
……

酪酊山人：日焼け止め？

日焼け止めはぬった方がよいぞ。

安藤奈津：そんなこと知ってますよ。

酪酊山人：うーん。

それはなあ、お主が2年生になって、い
っしょなことをすると、またどんどん続
いてしまうじゃろ。それを2年生になっ
てしなければいいんぢゃ。わかるか？

安藤奈津：でも、そうしたら、私たちは損するじ
ゃないですか。

酪酊山人：ほーら。

今の2年生は1年生の時にそう思ったか
ら、今もお主に押しつけているんであ
って、お主らがそう思わずに、2年生に
なってもそんなことをしなければ、それ
はなくなるじゃろ。だから、今はガマン
するしかないのぢゃ。

安藤奈津：う〜ん……

酪酊山人：もしも、ほんとに正しくないことを言
ってきたら、先輩でも何でもガツン！！

と言ってやればいいんぢゃないのか？

安藤奈津：それはムリっぽいですけど……

でも私たちが2年生になって、しなけれ
ばいいんですね。わかりました。ありが
とうございます。

酪酊山人：よしよし。

あ……それはそうと、1年6組はこのご
ろ生活態度が悪いそうぢゃな。

安藤奈津：う〜ん。そうですね。

ふり返ってみれば、私たちはさかね先生
に迷惑をかけすぎてますよねえ……

酪酊山人：もっと中学生らしく、小学校で学んだ
ことを生かしてみてはどうだ？

安藤奈津：そうですね。

私たち、実はさかね先生が全く叱らない
ので、すごくだらけていて、さかね先生
を甘く見ていた、というか……

酪酊山人：ほ〜〜

安藤奈津：さかね先生が少しずつ叱ってくれ
ば、絶対に1の6はかんbecきになると思
うんですけど……

酪酊山人：いや、さかね先生が叱らないのは、叱
るまでだらけた1の6にしたくないから
ではないのかのう。

先生は自分たちで気がついてほしいんだ
と思うぞ。

安藤奈津：この間、理科の先生にも叱られて……
やっぱりうるさいんですね。

酪酊山人：まあ、うるさい、というのも1つの6
組のとりえなのぢゃが、それをどうい
うふうな形でよくしていくかが問題なのぢ
ゃ。

まあ、それは、お主ら1年6組の生徒し
だいぢゃ。わかったかな？

安藤奈津：そうですね……

わかりました！今日は本当に、ありが
うございました！！

酪酊山人：また、悩みがある時はいつでも来な
さい！

安藤奈津：はい！！

ほんとうにありがとう
ございます！

さようなら〜〜

！！！！